

《 令和 4年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和 5年 3月 末日 現在

部署名	P 実施計画				実施管理 (年度末まとめ)				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
					区分	実施内容	区分	次年度の改善内容	
看護部	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	1. 地域のがん看護の均てん化が徐々に進められているが、今後より一層室の向上をはかっていくためには、がん診療連携拠点病院として、最新の治療や専門的ながん看護について研修を通して提供する必要がある。多施設の研修生を受入れることが制限される中でも昨年度好評であったオンラインでの研修を計画する必要がある。	1. がん診療連携拠点病院の強化事業として、「がん看護コアナースセミナー」を昨年度と同様にオンラインで開催する。研修テーマは毎年最新の治療法や看護が発信できる内容とする。 1)知識編(「がん化学療法中の食を考える」「倫理カンファレンス」に関する講義)とGWによる事例検討を3日間に分けて行う。 2)病院HPへの掲載や地域の拠点病院への発信など効果的な宣伝活動により参加者を募集する。 3)運営や講師・ファシリテーターについては、当院のCNSやCNが参加し、専門的関わり(困りごとの解決や支援方法の提案など)を行う。	令和4年 9月30日 10月7日 10月14日	○	達成	前年度に引き続き、「がん看護コアナース育成セミナー」をWEBで9月30日、10月7・14日の3日間開催した。院内外を含め22名の応募があり、全課程に参加し修了した。化学療法中の食の支援を消化器内科医師と管理栄養士から、倫理課題についてCNを交えて講義と事例検討を行った。がん患者への支援について手がかりが得られた等の意見があり、参加者の目標は概ね達成できた。	継続	次年度もリモートによる研修を開催する。講義とGWでの事例検討は好評であったため、同様の開催方法とする。
		2. がん専門病院として最新の治療に対する看護実践力を向上させる必要がある。	2. 専門・認定看護師や有資格者の実践力が向上する 1) CNSCN会を活用し、がん患者指導管理料取得数増加をはかる 2) 看護研究や倫理課題に積極的に取り組む。	CNSCN会 は年5回	○	達成	CNSCN会を活用し、がん患者指導管理料取得のために運用の改善を行った。昨年度並みの取得件数が得られた。倫理課題の達成についても、すべてのCNSCNが病棟等部署の担当となり、タイムリーにカンファレンスに参加するなど積極的に活動した。	継続	CNSCN会を活用し継続して活動する。次年度は多部門との倫理カンファレンス開催を積極的に行うことを目標としている。
		3. がんセンター独自の研修方法を有効に活用して教育計画に基づいた研修を行う必要がある。	3. ともタン研修と集合研修を合わせた研修を開催し人材を育成する。 1)ともタン研修と集合研修を年間計画に基づいて開催する。 2)院内講師はCNSやCNを活用し講義を行う。 3)OJT支援方法と達成課題を明確にする。 4)看護部ジェネラリストラダーで個別に評価を行う。	研修の 年間計画 に基づく	○	達成	ともタン研修と集合研修を組み合わせて研修を計画し、予定通り実施できた。	継続	次年度も同様にともタン研修を組み合わせた研修計画を立てて実施する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。